



# 碧南ロータリークラブ週報

第2771回例会 平成28年3月23日(水)

- 会長 山中 寛紀
- 幹事 新美 雅浩
- 会場監督(SAA) 杉浦 栄次

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



世界へのプレゼントになろう

- 会報委員 藤関孝典・杉浦秀延・八馬宜久

## ● 斉 唱

ロータリーソング「ロータリー讃歌」

## ● 本日のお弁当

だい忠

## ● 本日のお客様

雅楽楽器師 久松 誠様

## 会 長 挨拶

まずは、当クラブの会員であります渡部哲也様におかれましては、この3月いっぱい転勤に伴い退会されますことを先週あるいは先々週に申し上げた通りでございます。渡部様におかれましては、平成26年7月2日に入会され、約1年9ヶ月という短い期間ではございましたけれども、入会されまして早々に



山中寛紀会長

他の会員の方々と打ち解けられ、非常に多くの仲間の中で毎回の例会を楽しんで頂いていたと思います。また、親睦活動委員としては、各種行事にご尽力頂きましたことを心から御礼申し上げますと共に今後の益々のご活躍をご期待申し上げます。どうかお元気で新天地でもご活躍されることをお祈り申し上げます。ありがとうございました。

今月のロータリーの月間は、水と衛生ということになっていますが、世界中の約60数億の人口がある中でなんと25億人の方が衛生環境の整った生活ができていないといわれているようでございます。そして毎日3千名の子供が汚染された水を飲んで命を落としているということもいわれているようで、この水に対する事業というのはロータリーも非常に重視しているということで、RIの中の重点事業ということでもございますが、当2760地区でもクラブ単位あるいは地区事業として東南アジア諸国で水に関する様々な支援を行って来ていますが、今後もこういった事業が継続されているものと思っております。

3月も下旬になりまして、ここ数日は毎日暖かい日が続いております。この時期になりますと毎年必ずニュースで流れてまいりますのは、桜の開花ということでございまして、南から北へ向かって順次開花していく訳でございます。

調べてみましたら、1953年以來、こういった観測が見受けられているということでございますけども、最近の地球温暖化に伴いまして1989年以降では桜の開花が全国平均で3.8日早くなっているということでございます。最も早く桜が開花したのが、2002年ということでございますが、この時は例年に比べて全国平均で12日も早かったそうです。

今年は例年の平均的な開花時期になると思っておりますけども、この桜というものは咲き誇ってからあっという間に散ってしまうという非常に寿命の短い花でございます。毎年この時期になると必ず桜の花を見ては色々思いを浮かべる訳ですが、その儂さが私たちの心に響く情景なのかと思っております。

本日もどうか例会よろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告させていただきます。

- ・ 例会変更等は幹事報告書に記載の通りでございます。
- ・ お手元の幹事報告書にも記載させていただきましたが、碧南高浜防犯協会連合会様より春の安全なまちづくり県民運動の実施についてのお願いということでポスターが届いております。会場の受付でそれぞれの方にお渡ししておりますけども、お渡し漏れがあった方も見えるかと思っておりますので、その方につきましては帰りにお持ち帰り頂き、会社にご掲示頂きますようお願い申し上げます。
- ・ 同じく受付のところで先週からご案内しておりますけども、4月9日の土曜日が家族会で例会日となっております。家族会にご欠席される方も多くお見えになると思っておりますが、メイクアップの方を必ずお願いしたいと思います。4月1日～8日まで各RCのメイクアップ日をご案内しております。因みに4月5日が高浜の衣浦グランドホテルでのメイクアップ日となっておりますので、お忘れなきようよろしくお願い致します。



新美雅浩幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 71 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 13 名)出席者 62 名	
出席対象者 62/67 名	出席率 92.54%
欠席者 9 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※六週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

## <ニコボックス委員会>

- 新美 雅浩君 下のチビが、後期試験でサクラ咲きました。
- 加藤 良邦君 春彼岸会お陰様にて、無事に終える事が出来ました。
- 長田 豊治君 キャッチ地元がパラダイスで、RC植樹と棚尾まちづくりのインタビュー映像が放映されました。皆様のご協力に感謝、感謝！ 有難うございました。
- 新美 宗和君 3月20日に第10回歌唱審査会を開催しました。作曲家の泉俊輔さんの審査で、楽しい一時をすごしました。又、5月9日（月）には池田輝郎の新曲キャンペーンがあります。ぜひチケット買って来て下さい。
- 平松 太君 中部経済にのりました。頑張って仕事をやって来て良い思い出になったと思いました。
- 角谷 信二君 娘が大学卒業しました。就職が大阪となり複雑です。
- 長田 和徳君 親子ともども結婚記念日が3月16日。私が25周年、父が55周年、4名でささやかな食事会をしました。
- 榊原 健君 新美惣英さんには大変お世話になりました。足を向けて寝ることはしません。
- 鈴木 泰博君 本日の講師、雅楽楽器師 久松誠さんをご紹介致します。
- 杉浦 秀延君 講師、雅楽楽器師の久松誠さんを紹介します。どうぞよろしくお願ひします。
- 山口日出子君 初孫が産まれました。ご先祖様に感謝です。新米ババはバタバタです！

## 卓 話

### 「雅楽楽器 鳳笙とは」

雅楽楽器師 久松 誠様



久松 誠様

こんにちは。本日はこのような席にお招き頂きまして誠にありがとうございます。普段、私は常滑市で笙を作るのを生業として1日中1人で黙々とやっております。1日、人と話す機会が無い日もございますし、決して話は上手ではないので、お聞き苦しいところも多々あると思っておりますけども、どうぞ最後までよろしくお願いします。

まず、雅楽の管楽器についてお話させていただきます。主に雅楽では3つの管楽器を使って合奏します。龍笛（りゅうてき）、高麗笛（こまぶえ）、箏篳（ひちりき）、笙（しょう）という正確に言いますと4種類の管楽器を使います。

龍笛は竹で作られています。息を吹き込む歌口（うたぐち）と7つの指孔（ゆびあな）を持つ横笛です。広い音域を持ち、低い音から高い音の間を縦横無尽に駆け抜けるその音色は「舞い立ち昇る龍の鳴き声」と例えられ、それが名前の由来となっています。

箏篳は漆（うるし）を塗った竹の管で作られ、表側に7つ、裏側に2つの孔（あな）を持つ縦笛です。音は蘆（よし）で作った舌（した）、葦舌（ろぜつ：リード）を入れて音色を出

します。音は音域が狭く、葦舌との関係から一息で長く吹けなかったり、強弱がつけにくかったりしますが、これらがこの楽器の特徴になっています。長さは 18cm で、皆さんご存知だと思いますが東儀秀樹さんがこの楽器を有名にしてくださいました。今では琵琶湖で取れる蘆が 1 番いいということですが、高速道路ができたり、琵琶湖の水が汚染されたりしたため、昔の本当にいい蘆が取れなくなったというのが現状でして、箏箏を演奏される方は葦舌を維持していくことが本当に大変な時代だそうです。

龍笛、箏箏というのは、シルクロードを経て日本に伝わってきて、現在の形で日本に残っているのですが、中国は日本のような繊細な龍笛、箏箏はないそうです。西洋の方では、龍笛がフルート、箏箏がオーボエなどになったそうです。

笙はその形が翼を立てて休んでいる鳳凰に見立てられ、鳳笙とも呼ばれています。匏（ほう）と呼ばれる部分の上に 17 本の細い竹管を円形に配置し、竹管に空けられた指穴を押さえ、匏の横側に空けられた吹口より息を吸ったり吐いたりして金属製の簧（こう：リード）を振動させて音を出します。普通、管楽器というのはほとんど吹いて音を出すのですが、笙はどちらも音が出ます。これは本当に不思議な楽器でして、音の出る仕組みを未だに研究されているぐらいわからない楽器だそうです。これが西洋の方に流れていってパイプオルガンになりました。日本では、正倉院の宝物に笙が 3 本あるのですが、それは 19 本竹が並んでいるそうです。中国から日本に渡って来たときは 19 本竹が並んでいたのですが、笙は基本、和音で吹く楽器なので 1 本 1 本でメロディーを吹くということがないので、人間の耳で聞き取れる和音が 10 パターンでいいのではないかとということで、日本人が繊細に突き詰めていった結果、17 本の中のさらに 15 本だけしか弁は付いていない形になり、2 本は音が出ない構造になっております。日本人の感性でこの形になり、1300 年間同じ形で伝わっているということを知ったときには感動しました。

簧（こう：リード）は銀の金具で束ねられているのですが、外せば 1 本 1 本バラバラになります。1 番大きなリードで 2.2cm、1 番小さなリードで 1cm になり、吹きながら調律をしていきます。リードは元々銅鑼を細かく刻んで、薄くすりおろして、そこに切り込みを入れることにより振動で音が発生するという仕組みです。吹いても吸っても音が出るように調律しなければいけないので、かなり大変です。

余談ですが、雅楽から派生してきて未だに使われている言葉があります。音頭を取る、打ち合わせ、楽屋、千秋楽などたくさんあります。また、調子を合わせるや調子がいいも雅楽から派生した言葉です。なかなか皆さんに雅楽なんてものに触れて頂く機会はないと思いますので、知って頂けたらなと思い、今回来させて頂きました。本当につたない話で申し訳なかったのですが、これで終わらせて頂きます。ありがとうございました。

## 次回例会案内

平成 28 年 4 月 1 日（水）クラブフォーラム  
地区広報委員会 委員長 籠橋美久氏